

## スポーツ科学部 3つのポリシー

### ディプロマ・ポリシー

全学共通に定める「駿大社会人基礎力（①基礎的な力、②考える力、③行動に移す力、④協働する力、⑤総合的な力）」の修得に加えて、以下に示した学部教育を通じて培った知識と技能を身につけた者に学士（スポーツ科学）の学位を授与する。

- (1) スポーツの意義や価値について理解している
- (2) スポーツ科学の理論的な知識を理解している
- (3) スポーツ科学の理論に基づいてスポーツを指導する能力を有している
- (4) 学校、地域等でスポーツを企画・指導する能力を有している
- (5) 生涯スポーツ時代に対応する青少年のスポーツ教育、高齢化時代に対応するスポーツによる健康の維持増進又は地域振興に活用する知識を有している
- (6) 修得した知識を組み合わせた総合的な視点からスポーツをとらえ、課題を発見し解決する能力を有している
- (7) 主体性、積極性、協調性、リーダーシップ等の他者と協働するために必要な適性を有している

### カリキュラム・ポリシー

1.全学共通に定める「駿大社会人基礎力」を修得するための科目を「共通教養科目群」とし、スポーツ科学の理論的な知識や成果を学習する講義科目及びスポーツの実践力、指導力、企画力等を養う実習科目を「専攻科目群」とし、修得した知識を組み合わせた総合的な視点からスポーツをとらえ、課題を発見し解決する能力を養う科目を「演習科目群」として教育課程を編成する。

なお、履修方法としては、 Semester制を導入し、履修モデルを提供し、それに相応しい科目の履修を可能とする。

2.教育課程を以下の科目に分類し、必要な科目を配置する。

#### <共通教養科目群>

- (1) 教養基礎・教養発展科目には基礎的な教養知識・技能を身につけるとともに、現代社会の様々な課題を考察するための科目、地域科目には地域社会を理解し実践的に学ぶための科目を配置
- (2) 外国語科目には、外国語の運用能力と異文化理解を高めるための科目を配置
- (3) キャリア教育科目には、社会人としての就業意識や職業理解を高めるための科目を配置

#### <専攻科目群>

- (4) 専攻導入科目には、専攻科目を学ぶ上での入門的な知識・技能を身につけるための

## 科目を配置

- (5) 専攻基幹科目には、講義科目としてスポーツ科学の基幹的な知識を身につけるための科目及び実技科目としてスポーツの技能を身につけるための科目を配置
  - (6) 専攻発展科目には、健康の維持増進に寄与するスポーツに関する知識を有するための科目、生涯スポーツ時代に対応する青少年のスポーツ教育に関する知識を有するための科目、スポーツを地域振興に活用する知識を有するための科目を配置
- 3.少人数によるゼミ教育は、3年次の「ゼミナールⅠ・Ⅱ」、4年次の「ゼミナールⅢ・Ⅳ」を配置し、一貫性のある総合的な学習を保証する。
  - 4.スポーツ科学の理論的学習を基礎として、スポーツの実際を学校、地域等のスポーツ現場で体験するための科目として、3年次に「スポーツ健康実習」「スポーツ教育実習」「地域スポーツ実習」を配置する。
  - 5.各科目における講義内容・到達目標・学位授与方針との関連・成績評価方法をシラバス等で明示したうえで、公正かつ厳正に評価を行う。

## アドミッション・ポリシー

養成する人材像や教育課程をふまえ、以下の方針により多様な入試方式で入学者を選抜する。

- (1) 高等学校までの基礎的な知識や技能を身につけている。
- (2) 論理的思考力を持ち、自分の考えをわかりやすく表現することができる。
- (3) スポーツ（課外活動等）に興味を持ち、諸活動を通じて、自ら学び試行し行動することができる。

以上のような入学者を選抜するために、学力試験、面接試験、書類審査、模擬授業及び課題審査等を取り入れた多様な入試を実施します。

[2020年4月制定]